

NEW YEAR
'94



ふるさと

平成6年1月 No.29
●編集・発行
柏市増尾近隣センター運営委員会・広報部
増尾近隣センター
〒277 柏市増尾1614番 ☎(74)7211
吉田 稔 筆



謹賀新年 平成6年元旦



明けましておめでとうございます。

増尾近隣センター運営協議会
会長 塚田 裕也

いくたびもの会合と、えんえんと続く討議のすえ、増尾近隣センター運営協議会が誕生した。13年前のことである。

その結果、増尾地域内のほぼすべての団体を集合した組織として、いわゆる「ふるさとづくり」の活動の中心となった。

日常的な運営にたずさわる下部組織として運営委員会が組織され、その中に事業部をつくり様ざまな主催事業を催した。機関紙も創刊した。施設利用者もふえて住民の交流もはかられた。施設が市役所の出張所や図書館や公民館も含む複合施設であるため住民と行政の協調関係を必要とする機会もふえた。

そして今、一つの節目を迎え、次への発展のための課題をかかえ始めたと感じる。施設利用者の固定化を防止し、もっと多くの住民参加を可能にする方策、複合施設に有機的なつながりを持たせること、意欲的な生涯学習センターとしての機能を増加させること、そして何よりも、運営に参加する住民をふやすことなど課題は多い。最後に本年も皆様が健康で幸多い年を迎えられます事をお祈り致しまして年頭のご挨拶といたします。



明けましておめでとうございます。

増尾近隣センター運営委員会
委員長 吉田 稔

地域の皆様、昨年中は当近隣センターの運営並びに利用につきましては、ご理解あご協力を賜わり、お陰をもちまして環境、文化、保健体育、広報等の各部門とも初期の目的を達成し得ましたことを先づもって厚くお礼申し上げます。

当近隣センターは、市役所出張所、公民館、図書館分館、体育等の複合施設の近隣センターであるため、市内でも屈指の利用者の多い近隣センターでありますので希望する日の希望する時間帯に使用出来ない場合もございます。当運営委員会におきましては、より多くの方々に、より有効に利用していただくため、使用のきまりの外に、本館及び体育館の利用区分帯を設け、より有効に計画的に混乱を来さないように配慮しております。今後更に利用者が増加する傾向にありますので、市当局と運営委員会協議の上、利用者の要望にこたえるため利用時間帯の増加をも検討したいと思います。心豊かなふるさとづくりの拡大に大いに利用していただきたいと思ひます。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたしまして年頭のご挨拶といたします。



柏市の新しい顔 本多 晃 市長誕生!!

前鈴木市長の死去にともない、昨年11月21日に行われた市長選挙で本多晃氏が当選、今後4年間柏市の新しい顔として、その任務にあたられます。これまでの助役の経験から、実務派の市長として巾広い活躍が期待されます。

プロフィール
生年月日：昭和22(1947)年2月23日 46歳
出身地：兵庫県佐用郡佐用町
略 歴：昭和46年6月東大工学部卒業 趣味：テニス、旅行
昭和46年7月建設省入省 モットー：「初心忘るべからず」
平成3年7月柏市助役 好きな言葉：「挑戦」
平成5年11月21日柏市長(任期4年)

'93...行事を写真で観る!!

敬老会 9/26日

▼ もう一度若くなりたい。



▲ さあ、がんばるぞ。



▲ 長寿の秘薬かな!



いつまでもお元気で!

体育祭 10/25日

バドミントン部、
▼ 全員スタイリスト

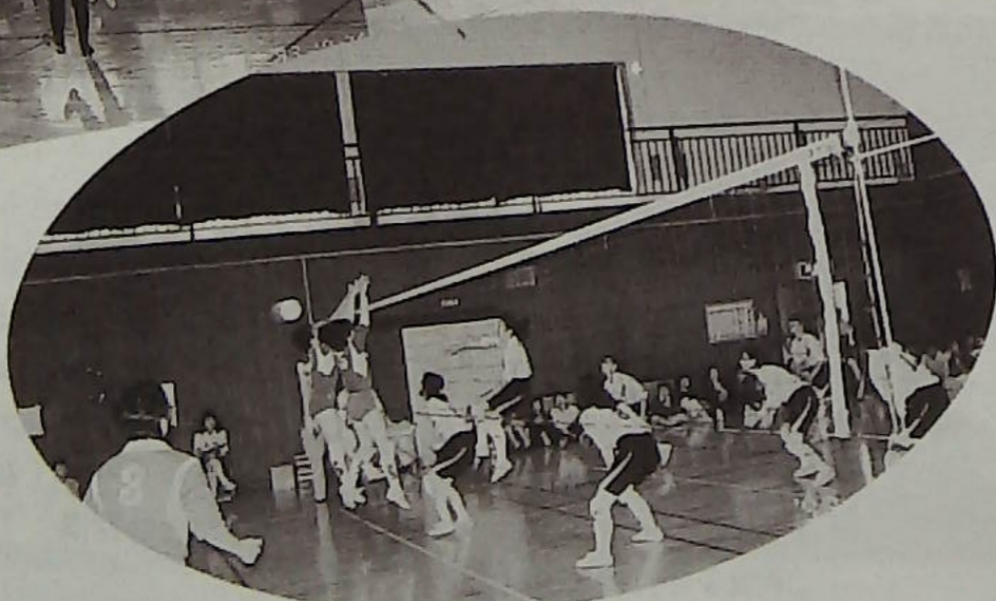
美容体操部、ダンス
▼ 「ウィアーザ チャンプ」



▼ 健康体操クラブによるタオル体操「スティング」
▼ 卓球部、豹のようなまなざし。



▶ バレー部
スマッシュ決まる。



ゲートボール大会 10/10日 (体育の日)



◀ ルールは守って。



◀ いらしなさいで。



◀ 慎重に。

文化祭 11/2火3水 (祭日)

▼ アイデア満載。

▼ わたしのはどこ!



▲ 初めての経験。



▲ 力作ぞろい。

ふれあいの集い 11/3水 (祭日)



ゴミ特集…今、柏はゴミで悩んでいます。

皆さんは柏市が年間・1日にどの位のごみ処理をしているかご存知ですか？

年間……9万トン（処理費用27億円）
1日平均……250トン（処理費用770万円）

ごみの出し方「再・確・認」

マナー向上作戦

とくに困っていることはビン・カン
の「混入ごみ」。なんと年間340トン、
カンにかえると約1,700万個。(平成4年
度)この数は清掃工場から出た焼けた
カンの量です。資源になるものがこん
なにたくさん無駄になっていることを
どう感じますか!?

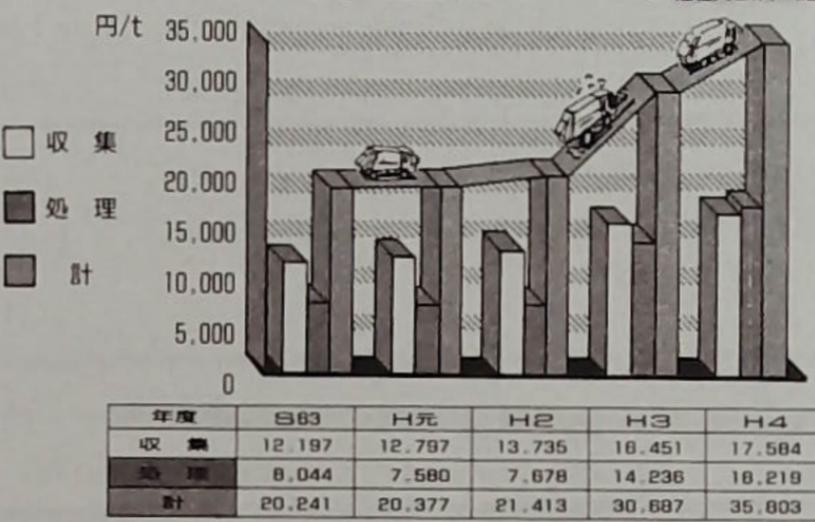


そこで柏市では

【ビン・カン混入ごみは収集しません】
10月12日から14のモデル地区でスタ
ート。本年度中に市内全域で実施され
ることが決定しています。このマナー向
上作戦は、
■ごみを分別して出すことの徹底
■ごみの減量
■リサイクルの促進
■ごみの集積所の美化
などを目的としています。

ごみ処理原価は？

グラフが示すように年間の
ランニングコストは年々上昇しています。



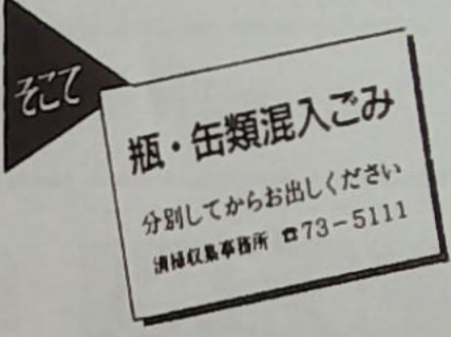
■年末年始の収集日

| | 年末は | 年始は |
|------|---|--------------------------------------|
| 可燃ごみ | 12月30日まで平常どおり収集します。 | 1月5日から平常どおり収集します。 |
| 不燃ごみ | 12月28日まで平常どおり収集します。ただし、第1・3水コース、第2・4水コースは第5週も収集します。 | 1月5日から平常どおり収集します。 |
| 資源品 | 12月28日まで平常どおり回収します。ただし、1月3日分は12月29日に変更、1月4日分は12月30日に変更。 | 1月6日から平常どおり回収します。ただし、1月5日分は1月6日土に変更。 |

粗大ごみ、布団の収集申し込みは12月15日まで。 ☎73-5111

混入ごみがあったら

【ビン・カン混入ごみは集積所に残します】
そのことを明記したステッカーをは
りますので、ごみを出した方や町会が
分別し、出し直してください。



ごみ体験ツアー体験記10/14(木)

木戸前町会 国分愛子さん

生憎の雨模様。本日の楽しみでもある、ビール工場見学後の試飲の味が気になる。そんな思いをよそに、バスは一路資源組合へと向う。2度目の私は雨の中での作業見学となった。今年の様な連日雨模様の中での分別作業は、雨もりがしそうな簡素な建物の中で行われる。作業所用地の確保が難しく、調整区域にかろうじて建てられたとの理事長の話に、都市部の苦悩も垣間見えた。缶類は、おおむね二種類に大別され、機械化されているが、ビンについては、種類の多いこと、店で引き取ってくれる物までが出されることなどから、その全てが手作業分別されている。気温は低いが、ビン内に残留物も多く悪臭が鼻についた。家庭でのちょっとした配慮があればと思ったのは私だけではないだろう。紙のリサイクルの方はかなり浸透して来ているとはいえ、その利用においては考えてゆくべき点も多いと思う。見学に参加する事で、自分の行動(出し方、再利用等)に対する責任を持つことが出来、それと同時にゴミ問題の諸側面も見て来るだろう。各自がリサイクルを生活に取り込む事が、資源の少ない我国のこれからの生活ポリシーとならなければと改めて思った。次回には、一人でも多くの方の参加を呼びかけたい。

増尾近隣センター

外壁補修工事終わる!!

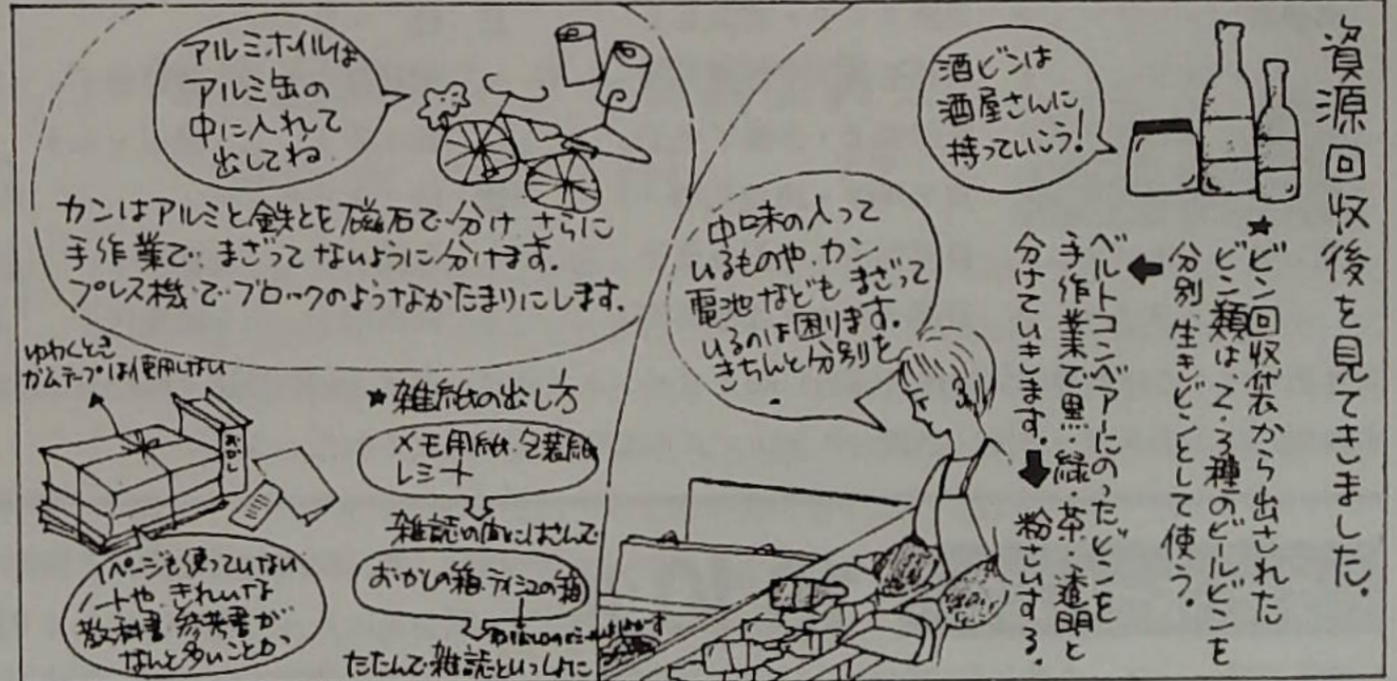
昨年10月初めより当近隣センターの外壁のいたみがひどくなったため、塗装等の補修工事を行っておりましたが、12月25日に終了致しました。ホワイトクリームの新鮮な建物に生まれかわりました。皆さま方には永い間本当にご迷惑をおかけ致しました。又、ご協力ありがとうございました。新たにたくさんの方々のご利用をお待ち致しております。(昨年7月22日(木)より自動販売機も設置致しました。ご利用下さい。)

足達實氏をゴミ監視委員として推薦

当地区に放置されるゴミを監視する為のグループが組織された。期間は平成5年11月1日より平成7年10月31日まで。もし皆様方の近くにながく放置されている自動車、バイク、自転車、その他の粗大ゴミを見つけたらご一報下さい。 電話73-2233

主任児童委員に吉田進氏就任

主任児童委員の制度がもうけられ、その職務は
1. 児童相談所、福祉事務所(家庭児童相談所)保健所、学校及び教育委員会等の連携を密接にし、児童及び児童を取り巻く家庭環境・社会環境について詳細な情報収集を行う。
2. 地域ぐるみで子育てを行うための啓蒙活動を企画し、活動実施にあたり、中心的役割を果たす。
3. 地域における活動の推進に関して、児童館活動や母親クラブ活動等の関係者との連携を密接にした活動。
・千葉県 463名 ・柏市 24名 ・土地区 2名(1名は女性)
任期:平成6年1月1日より平成8年12月31日までの3年間



手賀沼船上見学会9/13(月)19名参加

—あなたもその目で一度確かめて下さい—
遠い昔は本当にきれいな沼であったであろう手賀沼はヘドロ沼と化し、魚貝類と水草の宝庫も今では魚が生きる事もままならず、夏は悪臭を放ち、依然日本一汚れている沼として汚名をひきずっております。「水は生命を育む源」水はまわりまわって私達の水道源に入っています。きれいな手賀沼をとり戻すには我々一人一人何が出来るか考えて見ましょう。



参加者→募る

平成6年・新春の行事日程

| 行事名 | 日時 | 会場 | 対象 | 参加費 | 申込み |
|----------------------|---------------------------------|--|-----------------------------|------|--|
| 新春 囲碁・将棋 大会 | 1月30日(日) AM9:00より | 増尾近隣 センター (和室) | 当近隣センター 区域に在住の方 (50名) | 300円 | 1月11日(火)~13日(木) 費用をそえて直接センターへ (AM10:00~PM3:00) |
| ゴミ 護美いろは カルタ大会 | 2月11日(金) AM10:00より 建国記念の日 | 増尾近隣 センター (和室) (終了後、参加者におしるこサービス) | 当近隣センター 区域在住の 小学生 | 無料 | 1月11日(火)~13日(木) 直接センターへ 1組3名で申込みこと 先着順16組でメ切り |
| 腰痛予防体操 | 2月16日(火) PM1:30~3:30 | 増尾近隣 センター (和室) | 一般市民(40名) (体操のできる服装) | 無料 | 2月1日(火) 直接か電話でセンターへ AM9:00から先着順 |

老人芸能発表大会は3月の下旬、開催予定です。●お問い合わせは、増尾近隣センターへ
TEL (74) 7211

増尾近隣センター運営委員会委員長

吉田 稔氏

県知事交歓会に招待される。

平成4年度に衛生・環境・商工・農林・水産・教育関係に多大な貢献をしたとして、千葉県知事表彰を受けられた一人として、他の顕彰者と共に去る平成5年10月16日(土)に知事公舎にて昼食を共にされ親しく懇談された。又、その際招待者の代表として挨拶をされた。



体育祭 10/25 各部門の優勝者・入賞者一覧

予選大会 ・9月28~29日

優勝決定戦 ・10月25日

三位決定戦 ・10月25日

〈バレーボール部〉

優勝 ・酒井根クラブ

準優勝 ・はくしんチーム

三位 ・土小クラブ

四位 ・センターチーム

〈卓球部〉

優勝 ・Aブロック 脇田ひろ子・藤木律子

・Bブロック 時松益枝・小林絹子

・Cブロック 木之下由美子・関根静子

・Dブロック 小松良江・新井香代子

準優勝 ・Aブロック 栗原タミ子・前浪克子

・Bブロック 前島裕美子・外岡育枝

・Cブロック 原田悦子・高橋アキ子

・Dブロック 東テル子・津端光恵

三位 ・Aブロック 首藤和子・小沢外茂子

・Bブロック 斉藤サチエ・佐藤喜美子

・Cブロック 水谷輝子・荒木幸子

・Dブロック 中野陽子・進藤和子

四位 ・Aブロック 木下節子・大竹しん子

・Bブロック 石川シン・菊地恵美子

・Cブロック 土井栄子・椎野八重子

・Dブロック 市村雅子・中岡郁子

〈バドミントン部〉

優勝 ・Eチーム

浅原美喜子 川野晴子 岡室美智代
渡辺道代 高橋和江 鹿志村由紀子

二位 ・Cチーム

川村朝子 片岡百合子 島田涼子
大沢テル子 新井トミ江 染谷美千子

三位 ・Dチーム

網野なを子 菅野節子 草野早苗
鈴木秀子 樋田とみ子 元山純子

四位 ・Bチーム

寺脇正子 斉藤君子 石毛和子
保田靖子 今城美代子 酒井始子

体育祭ではこのほか美容体操部(55名)によるダンス(曲目-WE ARE THE CHAMP)と健康体操クラブ(36名参加)によるタオル体操(曲目-スティング)も合わせて発表された。

第13回増尾近隣センター体育祭



バレーボール
優勝・酒井根クラブ

第13回増尾近隣センター体育祭



卓球
優勝・Aブロック

第13回増尾近隣センター体育祭



バドミントン
優勝・Eチーム

ゲートボール大会 10/10

増尾近隣センター主催の第13回ゲートボール大会が快晴のもと、土地区老人クラブゲートボール場で開催される。午前9時からの試合前の式典に来賓として、市議会議員の高頭宏信氏より各チームに対し激励のご挨拶を頂戴したあと、本多見市長職務代理者の祝電の披露を山本事務局長より、審判長の伊能清丸さんより試合に対する注意があり、式典が終り9時15分試合開始が、小田土地区連合老人会々長より宣せられる。

今年は参加チームが6チームと過去最低の参加数となる。午前11時15分に決勝戦と三位決定戦を残して終り、弁当の届く間休憩して貰う。此処何年もお世話になっているボランティアの山本さん外お2人の御婦人に来て頂き、お茶だ、お菓子だとお世話して貰う。弁当が届き昼食になり休憩後、試合再開、決勝戦と三位決定戦が始まる。熱戦の末優勝は南ヶ丘、準優勝は新

星会、第三位は加賀寿楽会と決定する。

閉会式に入って吉田委員長より優勝チームの南ヶ丘チームに市長杯と優勝杯と賞状が、又、準優勝チームの新星会と三位の加賀寿楽会にそれぞれ盾と賞状が授与されてすべての行事が終り、参加者全員に記念品として、増尾近隣センター名入れのタオルを一本宛お渡しし散会となる



クレイナ手賀沼を

澄んだ水
きれいな手賀沼
子に孫に

鈴木昇さん

標語